

令和4年度 建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに 処遇の改善に関する徳島県計画推進会議 議事概要

日 時：令和5年3月27日（月）午前10時30分から午前11時45分まで

場 所：徳島県職員会館 第1・2会議室

出席者：[委員]金井委員、小島委員、佐藤委員、井川委員、土橋委員、橋本委員、松島委員、南委員

[オブザーバー]国土交通省四国地方整備局建政部計画・建設産業課長(代理)、
徳島労働局労働基準部健康安全課長(代理)、
徳島県商工労働観光部労働雇用戦略課長、

発言者	議事・発言内容
	(1) 徳島県計画推進会議設置要綱の改正について
事務局	・資料1～資料2の説明
	(2) 令和2年国勢調査の反映について (3) 徳島県計画の見直しについて
事務局	・資料3～資料5の説明
委員	・建設業協会として、来年度に女性部会の設置を検討している。 ・来年度に向け、建設業協会として、来年度、県が実施する事業について、参画できるステージを作っていただきたい。
事務局	・建設業協会様からの御提案について、前向きに、検討させていただきたい。
委員	・建設産業女性定着支援ネットワークという全国団体があり、なでしこBC連携として、オンラインの意見交換会に参加し、女性の活躍できる場を知っていく良い機会となった。
委員	・建設業の仕事の環境については、以前に比べると良くなったと感じる。 ・女性に限定せず、若者をターゲットにしていく方が良いと考える。 ・若い男の人が働ける現場であれば、女性も働けると考える。
委員	・建設業に関しては、2024年にも、時間外労働の上限規制が適用されるなど、女性だけではなく、全体が働きやすい職場にしないと、働き方改革の問題がクリアできないと考える。
委員	・働き方改革については、業界としては、DX化、通常のルーチンワークについては、システム化して進める方向となっている。

(4) 徳島県計画の進捗状況について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料6の説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> 女性の技術者は凄く増えたと実感している。 取組項目22のYou Tubeについては、せっかくの動画なので、若者や女性に届いてほしいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 県内の建築の分野の学部・学科がもっと充実すると良いと思う。 イベントは、親子での参加が結構おられる。そういうのをもっと増やしていくと、小さい子供も興味を持ったりすると考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 地元の中学生在が職場体験で来られたときに、「カッコイイ、希望の持てる、建設産業へ」の動画を、建設について興味を持ってもらえるように、視聴してもらっている。 若者へアピールするツールがあれば、もっと活用していきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 会社で、年に1回、地元の小学生を対象に現場見学会を実施しており、小学校には、親子での参加をお願いしている。親御さんの方が興味を持っていただけることがある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 私感ではあるが、土木の女性の監督は増えてきていると感じる。女性の技術者がいるとの声を聞くようになった。
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> 四国4県で、具体的に指標を置いてやっている県は徳島県だけとなっており、レベルの高いところでやっていると感じる。
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> 項目8及び9について、労働災害の件数については、新型コロナの罹患者を除くと、目標値の方を下回っており、関係者の皆様はかなり努力をいただいている。 死亡事故については、毎年3件前後発生しており、墜落が多く、毎年1人か2人が、墜落により亡くなっている。 女性の方が増えたと感じるが若者は減っていると感じる。若者をいかに呼び込むかということについては、県全体で取り組む必要がある。
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革については、プライベートの環境とか、ライフステージがある。いろんな方が、働きやすい職場環境を作っていくことが非常に重要であると思う。 県外の大学にいかれた方が中々帰ってこないとの現状がある。県外の大学生と県内の企業の接点を早い段階から増やしていく取組が重要であると思う。
(5) その他	
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今後、取組項目19番の建設DX推進講習会の開催は、例えば、BIM・CIM導入件数などより、小分けして、具体的な目標設定にすることも考えてみてはどうか。